会　議　録

1　会議名

令和７年度　第１回中郷区地域協議会

2　議題（公開・非公開の別）

（１）報告（公開）

・中郷区総合事務所の職員体制について

・令和７年度　中郷区における主な事業について

・中郷コミュニティプラザ及びはーとぴあ中郷の利用について

（２）協議（公開）

・自主的審議事項「中郷区型コミュニティバスのあるべき姿」について

・令和７年度の活動計画について

3　開催日時

令和７年４月 21 日（月）　午後６時 30 分から午後７時 25 分まで

4　開催場所

中郷コミュニティプラザ　ホール

5　傍聴人の数

0 人

6　非公開の理由

―

7　出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

・委　　員：竹内会長、陸川副会長、岡田委員、尾﨑委員、桐山委員、髙橋委員、竹内委員、松岡委員、村越委員、陸川委員、欠席２名

・事 務 局：中郷区総合事務所　髙波所長、金井次長、朝日市民生活・福祉グループ長（教育・文化グループ長併任）、桐山地域振興班長、更山地域振興班主事、近藤総務班長、髙橋産業建設業務窓口班長、早川税・市民生活班長、野坂福祉班長、中田福祉班主事、平原教育・文化班長（以下、グループ長はＧ長と表記。）

8　発言の内容（要旨）

【桐山班長】

会議の開会を宣言。

上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

【竹内会長】

これより第 1 回地域協議会を開催する。

今年度も地域の課題を抽出し、良い結果を得られるよう委員と共に知恵を絞って検討していきたい。地域協議会と行政が協働する中郷区らしい協議会を目指すので協力をお願いしたい。

会議録確認を松岡委員と陸川委員に依頼。

報告に移る。報告事項の 1 つ目、中郷区総合事務所の職員体制について、事務局に説明を求める。

【髙波所長】

4 月 1 日付け人事異動で、中郷区総合事務所は 7 人が異動となった。新たな気分でまた 1 年間よろしくお願いしたい。

今回異動した職員から自己紹介する。

【金井次長、朝日 G 長、近藤班長、平原班長、野坂班長、更山主事、中田主事】

自己紹介、異動の挨拶。

【竹内会長】

新しいチーム中郷として一丸となり活動を進めたい。初めて中郷区地域協議会に携わる方もいるが、中郷区地域協議会は若い委員や長く委員を続けている方もいる。前会長が子どもたちから引き出した「ずっと大好き中郷」というキャッチフレーズを基に地域づくりを考えているので、よろしくお願いする。

続いて、報告事項の 2 つ目、令和 7 年度中郷区における主な事業について及び報告事項の 3 つ目、中郷コミュニティプラザ及びはーとぴあ中郷の利用について、事務局に説明を求める。

【金井次長】

資料 No.1 及び 1-2 を基に説明。

はーとぴあ中郷の空調設備改修工事は 10 月下旬から 11 月下旬の予定であり、暖房が必要となる時期。華響や文化祭、保育園発表会が予定されているため、市でブルーヒーター等を調達し、事前に部屋を暖めておく等の対応を検討している。

【竹内会長】

事務局の説明について、質疑はないか。（なし）

中郷コミュニティプラザとはーとぴあ中郷の空調設備の工事について、業者や利用者に対してしっかりと周知し、できるだけ早く対応するようお願いしたい。

協議に移る。自主的審議事項「中郷区型コミュニティバスのあるべき姿」について、事務局に資料 No.2 中郷コミュニティバス「さくら号」運行状況について説明を求める。

【桐山班長】

資料 No.2 を基に説明。

運行主体であるまちづくり振興会の利用者に寄り添った柔軟な対応もあり、現状大きなトラブルもなく想定した中で運行ができている状態。

【竹内会長】

まちづくり振興会の事業ということで、岡田委員から一言お願いする。

【岡田委員】

まちづくり振興会が運行をはじめたことで「丁寧な対応をしてもらっている」という声を聞いている。これから問題点や不都合な点も出てくると思うので注視していきたい。予想以上に利用者が多いという感想。今後も継続的に利用者が増えるよう、利用しやすい運行を検討していきたい。

【陸川委員】

不都合な点はこれから出てくると思うが、少しずつ改善していけばよいと思う。利用方法が分からない方へ一人ひとり説明を行っているという点はとても良いことだと思う。

【竹内会長】

まちづくり振興会に任せきりにならないように、定期的な報告や意見の共有を行い、地域協議会も一緒に取組みを見守るようにしたい。

【髙橋委員】

利用者の数をみると、8 日・10 日・15 日が乗車定員を超えている。これは乗車定員超えた乗車があったというわけではなく、各便の合計数であり、全員乗りきれているという解釈でよいか。

【桐山班長】

1 日に 3 便または 4 便（2 コース・行き帰り）走っており、行き帰りどちらも乗車すると利用者数は 2 のカウントになる。これまで乗車定員を超えて乗れなかったという例はない。

【髙橋委員】

定員超過で乗りきれなかったときの対応も事前に協議した方がよいのではないかと思う。

【竹内会長】

データが積み重なってくると、どういう目的で利用する人が多いのか等の傾向が分かってくると思う。また「乗りたかったけど乗れなかった」等の声があるようであれば地域協議会や市へ相談しながら進めてもらいたい。

続いて資料 No.3 令和 6 年度中郷区子どもの居場所開設事業実施結果及び No.4 令和6年度中郷区子どもの い～場所開設事業保護者アンケート実施結果について、事務局に説明を求める。

【桐山班長】

資料No.3・4を基に説明。

【竹内会長】

この件については、アンケート結果を委員それぞれで整理し、次回の協議から少しずつ話していきたいと考えている。

【村越委員】

中郷区子どもの い～場所開設事業を立ち上げるにあたり、保護者と座談会を行った。アンケート結果をみると概ね参加者に喜んでもらえたと読み取れるのでよかった。全校児童の 20%くらいという参加率になったが、これが多いのか少ないのか。また座談会を行った保護者にも意見を聞き、今後に繋げていきたい。

【尾崎委員】

実際に参加者が多いか少ないかは考えるところではあるが、来ている子どもたちが満足しているという点はよかったと思う。保護者からも感謝の声があったので、また模索しながら、子どもと保護者が満足する居場所づくりを進めていきたいと思う。

【桐山委員】

自分の子どもも喜んで参加していた。来ていない世帯の意見を拾いながら新たに企画を考えていければよいと思う。

【竹内会長】

本日欠席の鹿島委員から「子どもたちの自主的な参加が 1 番多い回答であったことは喜ばしい」。居場所でやってみたいこととして挙げられた例について「実現可能な範囲で叶えてあげたいと思う」というコメントを預かっているので披露する。

ここ最近「不登校支援」「児童クラブの民営化」の話をよく聞く。各地域で子どもたちの居場所づくりが必要だという時代がきていると感じている。まずは中郷区の子どもたちについてしっかりと議論する必要があるので、次回以降、皆さんからの意見を求めたい。

【陸川副会長】

保護者がどういう気持ちで預けているかも気になる。また、アンケートの中で子どもたちから「道具を使いたい」という意見を考えると、拠点を決めていくことも考えられる。これまで同様にいくつかの施設を回ることも含めて今後協議していきたい。

【竹内会長】

それでは次に協議事項の 2 つ目、令和 7 年度の活動計画について事務局に資料 No.5・6 の説明を求める。

【桐山班長】

資料 No.5・6 を基に説明。

今年度の自主的審議事項、地域協議会の開催日時、地域協議会だよりの発行回数、4 区合同研修、視察研修について協議いただきたい。

【竹内会長】

まず、自主的審議事項について、これまで「中郷区型コミュニティバスのあるべき姿」について審議してきたが、さくら号の運行も始まりバス運行についてはいち段落した。さくら号については、今後の地域協議会で状況の報告をいただき、改善点を議論する必要があると感じているがどうか。

【髙橋委員】

報告の頻度は毎月ではなく節目節目で十分だと思う。まちづくり振興会が問題を感じた場合に、その都度報告をしてもらうようにすればよいのではないか。

【竹内委員】

今後も様々な意見や問題点がでてくると考えられるため、報告は必要だと思う。報告の頻度については、今後様子を見ながら決めればよいと考えている。

【岡田委員】

バス運行については、自主的審議事項のメインとして考えなくてよいと思う。

【竹内会長】

新しい審議項目については、次回までに 1 人 1 つずつ考えてもらいたい。バス運行については自主的審議事項からは外し、今後も報告を受けることで継続するということでよいか。（異議なし）

地域協議会の開催日は毎月第4月曜日、開始時間は当面、18時半からとし、会場は中郷コミュニティプラザで開催としてよいか。（異議なし）

地域協議会だよりについて、6・12・3月の年3回発行としてよいか。（異議なし）

4区合同研修について、視察研修と統合する案を提案する。

【村越委員】

統合することでイベントが少なくなることはよい気もするが、学ぶ機会があるなら4区合同研修と視察研修分けて行ってもよい気がする。かといって皆さんが参加できない様だと困るが。

【竹内会長】

まず4区合同研修のテーマ設定をしたうえで、視察研修に関する要望等があれば、それに応じて進めていきたいと考えるがどうか。

【桐山班長】

事務局から提案させていただく。市が地域自治を見直すために昨年から地域自治推進プロジェクトを立ち上げ、地域協議会やまちづくり振興会などの意見を集め、それをまとめた結果を3月に各委員に配布した。市は今後の方針について地域協議会委員の意見を聞きたいとの考えがあるため、4区合同研修は、地域自治推進プロジェクトについて意見交換する場にしてはどうか。市は、6月頃に開催したいと考えている。

【竹内会長】

先月、28区の地域協議会会長会議に出席した際、各区によって取組みに差があるように感じた。そのため、4区合同研修を地域協議会の意義について改めて考え、中郷の姿を紹介できる場にし、市の提案どおり、6月頃に開催するように進められればと思う。そうなると、はやめに動きださなければならない。

【陸川委員】

6月開催だと準備期間が短すぎるのではないか。

【髙波所長】

地域政策課では28区の各地域協議会を訪問し、地域自治推進プロジェクトの説明を行おうとしているところ。また、各地区の合同研修の中で意見交換をできればという考えもあり、日程については28区足並みそろえて5月中旬から7月上旬までに実施したいと考えている。日程調整については事務局にまかせていただき、みなさんに提案させていただければと思う。まずは4区合同研修会のテーマ設定を地域自治推進プロジェクトとしてもよいか確認いただけるとありがたい。

【竹内会長】

4区合同研修については、テーマ設定を地域自治推進プロジェクトにし、地域協議会としての士気を高めることができるとよいと考えている。その後、視察研修も必要ということであれば、時期を考えて設定できればと思う。

【髙橋委員】

ある程度自主性をもってテーマ設定をした方がよいのではないかと思う。行政側からやるべきと言われたことはやる必要があるが、皆さんから他に良いテーマの提案があれば、それを優先すべきではないか。日程についても、6月にこだわらなくてよいと思う。

【尾崎委員】

テーマについて要望はないが、勉強させていただく機会があればよいと思っている。

【竹内会長】

研修会の進め方について、市からの説明だけで終わらず、その後のフリートークでのテーマを今後絞り込みながら進めたいと思う。日程や場所については今後会長、副会長、事務局で打合せしていくこととしてよいか。（異議なし）

【竹内会長】

令和7年度の活動計画については以上でよいか。（異議なし）

本日の協議は以上である。

その他委員、事務局から発言はないか。（なし）

以上で、本日の地域協議会は終了とする。

9　問合わせ先

中郷区総合事務所　総務・地域振興グループ

TEL：0255-74-2411（内線165）　E-mail：nakago-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

１０　その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。